

※ 資料区分		※ 受理警察署		() 署
※ 受理番号		※ 受理年月日		年 月 日
※ 資格	1. 警備員指導教育責任者 2. 機械警備業務管理者			
※ 資格者証交付年月日		年 月 日	※ 種別	
※ 資格者証交付公安委員会		※ 資格者証の番号		

※印欄は記入不要

警備員指導教育責任者
~~機械警備業務管理者~~ 資格者証交付申請書

警備業法施行規則 第42条第1項 ~~第63条第1項~~において準用する同令第42条第1項の規定により 警備員指導 ~~機械警備業~~

教育責任者、
~~務管理者~~ 資格者証の交付を申請します。

不要文字は二重線で消す

〇〇 年 〇 月 〇 日

京都府 公安委員会 殿

申請者の氏名

京都 太郎

Ⓜ

(フリガナ) 氏名	キョウト タロウ 京都 太郎	フリガナはカタカナで記入し、濁点は1文字と数える。姓と名は1マス空ける。
住所	京都府〇〇市××町3番地3	番地、マンション名等は略さず、正確に記入する。
電話	(〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇番	
生年月日	明治 大正 昭和 平成 年 月 日 性別 1. 男 2. 女	
本籍又は国籍	京都府〇〇市××町2番地2	※
講習	講習を行った公安委員会の名称 京都府 公安委員会	
	修了証明書の番号	〇 〇 〇 〇 〇 〇
	修了証明書の交付年月日	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日

(警備員指導教育責任者資格者証の交付を受けようとする場合)

受けようとする警備員指導教育責任者資格者証に係る警備業務の区分	(1号)	2号	3号	4号
---------------------------------	------	----	----	----

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 不要の文字は、横線で消すこと。ただし、数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 「講習」欄の記載は、警備員指導教育責任者講習又は機械警備業務管理者講習の課程を修了した者のみ行うこと。
- 「受けようとする警備員指導教育責任者資格者証に係る警備業務の区分」欄中の「1号」とは法第2条第1項第1号の警備業務の区分を、「2号」とは同項第2号の警備業務の区分を、「3号」とは同項第3号の警備業務の区分を、「4号」とは同項第4号の警備業務の区分をいう。

申請しようとする警備業務の区分について、該当する数字を○で囲む。
機械警備業務管理者資格者証を申請する場合には、この欄は記入不要。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。